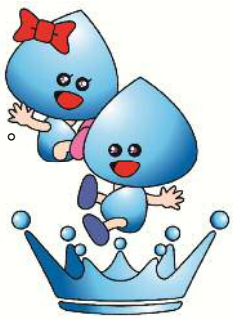
水の大切さを知って･学ぼう　水道週間イベント



■水道週間中、市内でさまざまなイベントを開催

６月１日から６月７日まで、さまざまなイベントが開催された「第５８回水道週間」。
期間中には、多くの人がイベントに参加し、普段何気なく使っている水道について理解を深め、水の大切さを再確認しました。

◆「生徒による記念植樹」◆

水道についての関心と理解を 深めてもらうとともに、登米市の豊かな水資源を、次世代に引き継ぐため、登米中学校１・２年生による植樹作業が５月３１日（火）、登米町日根牛字上羽沢地内で実施されました。

当日は晴天の下、登米森林組合の職員の方から植樹作業の注意点などの説明を受けた後、みんなで心を込めてヤマザクラやキハダなど広葉樹３００本を植樹しました。

参加した子供たちは「大きくなるのが楽しみ」などと感想を述べていました。

足場の悪い中、一生懸命登りました。

急な斜面にも負けず、みんなで協力し合い広葉樹の苗３００本を植樹しました。

苗が倒れないよう、しっかりと穴を掘り丁寧に植樹しました。

樹林終了後、代表者の生徒が感想を述べ、無事に終えることができました。

◆「園児によるヤマメの稚魚放流」◆

川に親しみを持つともに、環境保全活動、環境教育の取り組みの一環として、６月６日（月）北上川右岸の水辺プラザ船着場で、北上保育園の園児 43 名がヤマメの稚魚を放流しました。

園児たちは、「大きくなって帰ってきてね」と声を掛けながら、優しく稚魚を放流しました。

ヤマメについて、かっぱの会の方が説明を行いました。

「お魚さんの放流はどうやって川に帰っていくのかな？」放流の仕方を水道のお兄さんが説明しました。

ライフジャケットを着用して準備万端！これから放流を行います。

稚魚の放流開始です。落ちないように気をつけて放流しようね。

「お魚さん大きくなってね」と声を掛けながら、そっと稚魚を放流しました。

放流が終わって記念品が渡されました。「たのしかった」との声がたくさん聞けました。

◆「北上川クリーン作戦」◆

登米市の水道の主な水源となっている北上川。その堤防を美化し安全を守るため、取水口周辺の堤防をきれいにする「北上川クリーン作戦」が６月２日（木）に実施されました。

当日は天候にも恵まれ、関係者をはじめ登米市管工事業協同組合の皆さんやとよま北上川かっぱの会、ボランティアなど約 60 名が参加し、午後３時から４時までの約 1 時間、堤防上を清掃作業に汗を流しました。

作業では、大きなごみ袋を手に堤防や河川内に落ちているビニール類やペットボトル、空き缶、空き瓶などを拾いました。終了後には流木などを含めたくさんのゴミが回収されました。

ご協力いただいた皆さん、大変ありがとうございました。

今年度も管工事業協同組合の大勢の皆さんがクリーン作戦に参加しました。

多くの参加により、沢山のゴミを回収することができました。

河川敷に流れ着いた大きな竹や枝などは、かっぱの会の皆さんの協力により、船で引き上げることが出来ました。

皆さんのご協力によって河川敷がきれいになりました。
ありがとうございました。